



■平成29年度IT支援者養成研修（出張型） この講座は終了しました。

（目的）

障害者のIT支援関係を担当する区市町村職員、障害福祉センター、障害者就労支援センター等の地域支援者などを対象に、障害者IT支援のための研修を開催し、区市町村（地域）での障害者のIT利活用のための基盤を整備する。

○研修開催日時、場所

（1）開催日

《第1期》平成29年10月16日～平成29年12月22日

《第2期》平成30年1月9日～平成30年3月16日

火曜日又は金曜日（祝日、年末年始は除く）のうち、受講を希望する区市町村が指定する日

（2）時間

午前（9時半から12時まで）又は午後（2時から4時半まで）のいずれか

（3）場所

原則として、受講を希望する区市町村が指定する会場

○対象と受講人数

（1）障害者のIT支援関係を担当する（可能性のある）**東京都内**の区市町村の職員

（2）障害者のIT支援関係を担当する（可能性のある）**東京都内**の地域支援者

（障害者福祉センター、障害者就労支援センター、福祉施設の職員などの現場スタッフ）

5つのコースから、希望するコースを選択。定員は1区市町村10名程度。

○特徴

★タブレットやスマートフォンなど身近な機器で実現できる技術を中心に、実機体験を含め現場対応力を高める。

★全てのコースに資料（書性、WEB等）や都内のリソース（企業、支援団体、機関等）を配布。業務で活用できる便利な保存資料に。

○研修内容

受講を希望する区市町村が、以下のコースから一つを選択する。

- コミュニケーションを支える コース
- 意思伝達を支える コース
- 操作困難を支える コース
- 見えない、見えづらいを支える コース
- 理解、認知、記憶を支える コース

平成29年度IT支援者養成研修（出張型）

コース	概要	コースの活用	主に対象となる障害特性
コミュニケーションを支える	コミュニケーション障害をカバーする会話補助的な支	コミュニケーションが困難になっている方の支援を、道具を通して考えるコース。	聴覚障害・発達障害・言語障害等、会話の補完が

	援技術（意思伝達装置を除く）	タブレットやスマホの最新情報を知り、アプリの利用によっては支援機器となりうることを知る。	必要な方
意思伝達を支える	意思の表出が困難な方のための意思伝達を中心とした支援技術	意思伝達が困難になっている方の支援を、道具を通して考えるコース。 自宅あるいは病院等で、生活のステップを支えていく際の資料ともなる。	ALS、脳血管障害の後遺症等の、意思伝達、意思表出が難しい方
操作困難を支える	物理的な操作に困難さをかかえるケースでの支援技術	肢体不自由の方の困難さをケース別に考え、道具を通して支援技術を考えるコース。 Windowsやスマートフォン・タブレットが基本機能として持っているアクセシビリティを学び、操作特性を実機体験で知る。 就労支援の現場への情報提供にも。	上肢障害（肢体不自由）
見えない、見えないを支える	視覚的な困難さをかかえるケースでの支援技術	弱視や全盲の方の情報利用の困難さを実機体験を通して知り、支援を考えるコース。 Windowsやスマートフォン・タブレットが基本機能として持っているアクセシビリティや、専用ソフトなどを学ぶ。	視覚障害（全盲、弱視等）
理解、認知、記憶を支える	障害や疾病により、理解や認知、記憶等に困難さをかかえるケースの支援技術	最新のテクノロジーだけでなく、アナログな道具見直し、個別の困難さの解決を考えるコース。 活用事例を知り、地域で困難を抱える方への情報提供に。	発達障害、高次脳機能障害、知的障害、失語症等

（受講料）無料

（申込方法）

受講を希望する市区町村と東京都障害者IT地域支援センターとで、研修日時、場所、受講コース、受講者等を事前に電話調整の上、[別紙「平成29年度障害者のIT支援者養成研修（出張型）受講申込書」](#)をFAXにより申し込む。

- 施設の現場スタッフ様など地域支援者の方が受講を希望されるケースでは、まず区市町村の障害福祉課にご連絡下さい。
東京都障害者IT地域支援センターとの窓口は、所在地の区市町村の障害福祉課となります。
ご不明の際は、下記の問い合わせ先にご相談下さい。

（申込先及び問い合わせ先）

東京都障害者IT地域支援センター

【所在地】〒112-0006 文京区小日向4-1-6

東京都社会福祉保健医療研修センター1階

【電 話】03-6682-6308

【FAX】03-6686-1277

[戻る](#)

Copyright (C) 2004 Tokyo ITC All rights reserved.